

個人で行くまち歩き  
《②「奥の細道」所縁巡り》

奥の細道で有名な松尾芭蕉にゆかりのある場所を、ご自分のペースで、期間内に巡ってみませんか。おひとりで、ご家族で、お友達と気ままに小さな旅を楽しみましょう！

「奥の細道」所縁巡り

所要時間：約2時間  
距離：約2.0km

清澄白河駅  
A3出口

清澄白河と門前仲町周辺は芭蕉が居を構えていたところ

徒歩6分  
0.5km

A3出て左へ  
清澄通り直進

さいとあんあと  
採茶庵跡

縁側には旅の出発に腰を上げた姿の芭蕉の銅像

徒歩0分  
すぐ右側

芭蕉俳句の  
散歩道

芭蕉の俳句を詠みながら歩ける川沿いの遊歩道 注⇒

徒歩14分  
1.0km

万年橋  
(万年橋)

清澄庭園の間の道を直進。清川橋交差点を右折し直進

道すがら、葛飾北斎が描いた万年橋を渡ってみましょう

徒歩2分  
0.1km

橋を渡り切ったところから左前方に見えます

芭蕉稻荷神社

芭蕉が愛好した石造の蛙が御神体の神社

徒歩1分  
0.1km

神社を出て右折すぐ左側に庭園入口があります

芭蕉庵史跡  
展望庭園

隅田川と清洲橋を見下ろす小さな庭園

徒歩4分  
0.3km

庭園を出て右折万年橋通りを左折300m程直進した左側

江東区  
芭蕉記念館

芭蕉の生涯や人物像等、パネルや復元品で分かり易く展示

隅田川沿いのテラスを散歩するのも気持ち良いですよ！

\* 徒歩時間は個人差がありますので、目安としてみてください。



隅田川の岸边や、神社を過ぎて芭蕉記念館へ向かう道のいたるところに芭蕉の足跡を感じることができます。芭蕉が過ごしたとされる場所、そして旅に出た場所をゆっくり巡ってみてはいかがでしょうか。

注⇒「芭蕉俳句の散歩道」は歩けますが、工事中で通り抜けができません。来た道に戻り、右側の清澄庭園の間の道路を直進し万年橋へ向ってください。

- 参加資格：都民、都区退職者等
- 実施期間：令和4年4月1日～令和5年1月10日の間
- 実施内容：実施期間内に、ご自分の行ける日程で巡ります。用紙(裏面)も参考に、ご自由に歩いてみてください。
- 訪ね終わったら：用紙裏面に訪問日、お名前、住所、年齢、電話番号、感想等を記入のうえ、1か月以内に下記送り先へ郵送してください。(最終提出締切日は令和5年2月10日) …《②「奥の細道」所縁巡り》の応募は一人1回限り
- 修了証、記念品の贈呈：後日、裏面記載の住所へ、修了証、記念品(ハンカチ)、当該用紙(ご本人の記念のためお返しします)をお送りします。最終締切日以降、2コース以上参加された方のうち、抽選でさらに記念品(クオカード)を贈呈。発送をもって当選とさせていただきます。
- 留意点：入館料や交通費などは自己負担です。開館時間、休館日等のご自身で確認してください。散策中の事故等による損害も自己責任です。
- 送り先・照会先：一般財団法人 東京都弘済会  
〒104-0043 中央区湊1-12-11 4階 東京都弘済会 「個人で行くまち歩き」担当宛 (tel) 03-3551-1101

# 「奥の細道」所縁巡り

開かちや坂



清澄白河駅  
A3出口

- 東京メトロ「半蔵門線」、都営「大江戸線」の清澄白河駅A3出口を出て左へ、清澄通りを道沿いに6分程歩くと右側に「採茶庵跡」があります。
- 清澄白河と門前仲町周辺は、芭蕉が1600年代に居を構えていたため、芭蕉にまつわる多くのスポットがあります。

さいとあんあと  
採茶庵跡  
(江東区深川1-9)

採茶庵は、江戸時代中期の俳人杉山杉風(すぎやまさんふう)の庵室です。芭蕉は奥の細道の旅に出る前、住居としていた芭蕉庵を手放し、しばらくは採茶庵で過ごしました。門人たちと別れを惜しんだのち、舟で隅田川をのぼり、千住大橋のたもとから奥州へと旅立っていきました。

芭蕉俳句の散歩道



奥の細道の代表的な18句が木製で句碑として行程順に並んでいて楽しむことができます。

**注意) 工事中で通り抜けができません。** 来た道を戻り、清澄庭園の間の道路を、清川橋方向へ直進し万年橋へ向かってください。

五月雨をあ



万年橋  
(万年橋)

虹型をした優美な橋で、葛飾北斎は「富嶽三十六景」のひとつに「深川万年橋下」として、美しい曲線を描く万年橋を大きく扱い、その下から富士山を望む、洋画の影響をうけた錦絵を残しています。



芭蕉稻荷神社  
(江東区常盤1-3-12)



1917(大正6)年津波来襲の後、芭蕉が愛好したといわれる石造の蛙が発見され、地元の人々の尽力により、ここに石蛙を御神体として芭蕉稻荷が創建されました。出土した「石の蛙」は芭蕉記念館に展示されています。



芭蕉庵史跡  
展望庭園  
(江東区常盤1-1-3)

- 開園時間9時15分~16時30分(入園無料)
- 芭蕉の像があり、像は午後5時に回転して川の方に向くらしいですが、動いているところは閉園後なので間近では見られません。
- 隅田川と清洲橋を見下ろすこの庭園で少し景色を楽しんで、芭蕉記念館へ向かいましょう。

この植物が「バショウ」→家の周りに生い茂り「芭蕉庵」と呼び、俳号を芭蕉と名乗るようになった



江東区芭蕉記念館

(江東区常盤1-6-3)  
☎03-3631-1448

松尾芭蕉の業績を称えるため昭和56年4月に開館。芭蕉の生涯や「奥の細道」に費やした日にちや距離、詠んだ句の数なども記されています。展示室観覧料：大人200円 開館時間：9時30分~17時(入館は16時30分) 休館日：年末年始、展示入替え期間、第2・4月曜日(祝日の場合は翌日が休館) <休館日等はご自身で確認してください。>

ご感想をお聞かせください。



訪ねた日

令和 年 月 日

お名前 : 様 年齢 : 歳 電話番号 :

ご住所 : 〒

【弘済会使用欄】

修了確認印

